



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)  
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 西岡 孝  
 (氏名) 佐々木 悟  
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	1,329	24.3	1		5	91.9	10	
2018年12月期第2四半期	1,755	37.5	60		69		49	

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 10百万円 ( %) 2018年12月期第2四半期 49百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	0.83	
2018年12月期第2四半期	4.40	3.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	3,560	2,818	68.6
2018年12月期	3,147	2,796	77.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,440百万円 2018年12月期 2,437百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,205	8.0	194		201		162		13.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	12,451,000 株	2018年12月期	12,418,500 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	200 株	2018年12月期	200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	12,428,910 株	2018年12月期2Q	11,371,440 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいてお、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、2019年の年間供給が3.7万戸（前年比0.8%増）と予想されておりましたが、当第2四半期連結累計期間においては供給戸数が前年同期比13.3%減、契約率においても3ヶ月連続で70%を切る等（いずれも民間調査機関調べ）と非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,329百万円（前年同期比24.3%減）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業利益60百万円）、経常利益5百万円（同91.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ハウスケア事業

ハウスケア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移しましたが、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力し、中古マンション市場及び代理店事業が結果を出し、売上・利益ともに順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるハウスケア事業の業績は、売上高595百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益115百万円（同47.8%増）となりました。

#### ②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、新規取引先の獲得はありましたが、売上に貢献するほどではありませんでした。また、求人募集費や現場人件費の増額等はありませんでしたが、臨時的売上等があり利益に関しては、比較的順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高697百万円（同2.4%増）、営業利益27百万円（同50.7%増）となりました。

#### ③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、販売予定物件の売却が出来ず、売上・利益ともに非常に厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高35百万円（同93.6%減）、営業損失6百万円（前年同四半期は営業利益133百万円）となりました。

#### ④その他

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、現地監査法人の見解はプラットフォーム構築の完了をもって収益認識するというものでした。それを受けて、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしました。総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、第2四半期連結累計期間においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。そして、Ruden Singapore Pte. Ltd. の口座開設については孫会社の口座を利用することとしております。また、ICO時に調達した1,700Bitcoinについては、今のところ現金化しておりませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、相場と資金需要をみて、順次現金化していく予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、売上高0百万円（同91.7%減）、営業損失4百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が378百万円、仕掛販売用不動産が108百万円増加したことなどによる一方、短期貸付金が156百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は200百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に破産更正債権等が11百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は723百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円増加いたしました。これは主に前受金が359百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は18百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が5百万円、その他が2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は741百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に新株予約権が19百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.6%（前連結会計年度末は77.5%）となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ377百万円の増加となり、当第2四半期連結累計期間の資金残高は、1,012百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は212百万円（前年同四半期は795百万円の使用）となりました。これは主に前受金の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は141百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。これは主に貸付金の回収による収入などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は22百万円（前年同四半期比96.7%減）となりました。これは主に株式の発行による収入などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月13日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	639,459	1,017,578
受取手形及び売掛金	274,188	301,422
商品及び製品	114,544	116,858
販売用不動産	1,348,889	1,358,513
仕掛販売用不動産	41,112	150,000
仕掛品	1,611	1,799
原材料及び貯蔵品	8,919	6,696
短期貸付金	396,557	240,515
未収入金	63,938	65,017
その他	72,421	101,725
貸倒引当金	△6,057	—
流動資産合計	2,955,586	3,360,126
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	134,015	134,015
減価償却累計額及び減損損失累計額	△77,389	△78,512
建物及び構築物(純額)	56,625	55,503
機械装置及び運搬具	3,428	3,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,969	△3,015
機械装置及び運搬具(純額)	459	413
工具、器具及び備品	7,068	7,276
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,552	△4,994
工具、器具及び備品(純額)	2,515	2,281
土地	37,543	37,543
リース資産	3,700	7,236
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,638	△3,952
リース資産(純額)	61	3,283
有形固定資産合計	97,205	99,025
<b>無形固定資産</b>		
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	10,403	10,403
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,930	2,942
出資金	581	581
破産更生債権等	644,314	656,018
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	80,499	80,579
貸倒引当金	△714,372	△719,063
投資その他の資産合計	84,010	91,115
固定資産合計	191,620	200,545
資産合計	3,147,206	3,560,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,984	78,050
短期借入金	2,600	2,600
未払金	144,499	154,217
未払法人税等	41,527	24,253
前受金	1,110	360,608
預り金	40,936	42,869
売上値引引当金	540	394
アフターコスト引当金	2,165	1,953
その他	26,178	58,542
流動負債合計	341,543	723,489
固定負債		
長期借入金	—	5,462
退職給付に係る負債	8,842	10,060
その他	51	2,773
固定負債合計	8,894	18,296
負債合計	350,437	741,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,188,625	2,195,248
資本剰余金	720,977	727,601
利益剰余金	△471,745	△482,020
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,437,566	2,440,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	243
その他の包括利益累計額合計	235	243
新株予約権	358,965	378,103
純資産合計	2,796,768	2,818,885
負債純資産合計	3,147,206	3,560,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,755,942	1,329,439
売上原価	1,175,817	835,050
売上総利益	580,124	494,388
販売費及び一般管理費	519,252	496,008
営業利益又は営業損失(△)	60,872	△1,620
営業外収益		
受取利息	8,055	6,784
受取配当金	58	29
その他	3,360	969
営業外収益合計	11,474	7,783
営業外費用		
支払利息	10	79
為替差損	89	243
控除対象外消費税	2,737	263
その他	334	—
営業外費用合計	3,172	586
経常利益	69,174	5,576
税金等調整前四半期純利益	69,174	5,576
法人税、住民税及び事業税	26,467	15,572
法人税等調整額	△7,283	280
法人税等合計	19,184	15,852
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,989	△10,275
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	49,989	△10,275



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,989	△10,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△365	8
その他の包括利益合計	△365	8
四半期包括利益	49,624	△10,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,624	△10,267
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	69,174	5,576
減価償却費	5,026	1,924
のれん償却額	5,083	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,652	△1,366
売上値引等引当金の増減額 (△は減少)	62	△146
アフターコスト引当金の増減額 (△は減少)	△66	△212
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	563	1,217
株式報酬費用	13,636	15,220
受取利息及び受取配当金	△8,114	△6,813
支払利息	10	79
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,699	△27,233
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△4,652	1,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△116,161	△278
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△977,705	△9,624
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	138,347	△108,887
前渡金の増減額 (△は増加)	94,000	—
前払費用の増減額 (△は増加)	△33,980	2,220
未収入金の増減額 (△は増加)	△11,868	5,704
預け金の増減額 (△は増加)	△20,000	△340
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,558	△3,934
未払金の増減額 (△は減少)	39,204	9,718
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,259	13,102
預り金の増減額 (△は減少)	3,858	1,932
前受金の増減額 (△は減少)	852	359,497
その他	6,226	△16,438
小計	△794,249	242,017
利息及び配当金の受取額	1,330	30
利息の支払額	△10	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,837	△29,320
営業活動によるキャッシュ・フロー	△795,767	212,727
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,640	△1,711
敷金及び保証金の回収による収入	1,492	1,443
貸付けによる支出	—	△7,760
貸付金の回収による収入	214,796	151,000
その他	△439	△208
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,008	141,763
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	374,107	7,844
新株予約権の行使による株式の発行による収入	307,100	9,321
新株予約権の発行による収入	5,237	5,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	686,444	22,627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103,685	377,118
現金及び現金同等物の期首残高	728,411	635,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	832,097	1,012,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	507,129	681,131	558,281	1,746,542	9,400	1,755,942	—	1,755,942
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	507,129	681,131	558,281	1,746,542	9,400	1,755,942	—	1,755,942
セグメント利益	78,243	18,508	133,724	230,475	△37,647	192,828	△131,956	60,872

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△131,956千円には、のれん償却額△5,083千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△126,872千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	595,419	697,284	35,955	1,328,658	780	1,329,439	—	1,329,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	595,419	697,284	35,955	1,328,658	780	1,329,439	—	1,329,439
セグメント利益 又は損失(△)	115,663	27,891	△6,967	136,587	△4,083	132,503	△134,123	△1,620

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,123千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,123千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。